

平成27年1月19日（月）放送 NHKおはよう日本

～坂井市～

（ナレーション）

- ・過熱するふるさと納税のお礼競争と一線を画す自治体もあります。
- ・日本海に面した福井県坂井市、冬の味覚越前ガニが特産品です。
- ・しかし、お礼に送っているのは感謝状と広報誌そして、ふるさとを感じてもらおうと「母への想い」というタイトルの本

（坂井市職員）

- ・「カニを送ってほしいがどういう寄付の手続きをすればいいの？」という電話がかかってきます。
- ・中には、「何も送らないで、寄付を集めるのか」と電話を切る方もいます。

（ナレーション）

- ・坂井市は児童の登下校の見守りや文化財の保護、電気自動車の普及などあくまで、使い道に賛同してくれる寄付を得ようと考えています。
- ・特産品を送らなくても多い年には1千万円の寄付が集まったといいます。

（坂井市職員）

- ・ものだと所詮、一過性のもので新たなものが出てくると、そちらの方に寄付者は目を向けてしまいますし、違う意味での自治体間競争、贈り物競争が発生すると考えています。
- ・小さいときに自分を育ててもらった地域、ふるさとに恩返しすることが、本来のふるさと納税の主旨ではないかと思います。

～まとめ～

（女性アナウンサー）

- ・魅力的なお礼の品を用意する自治体があれば、特産品に頼らない自治体もあるということで、自治体によって考え方は様々ですが、私たちにとってみると、選択肢が広がることは楽しみでもありますね。

（男性アナウンサー）

- ・そうですね、ただ大切なことは地域の活性化、これにどのように役立てていくのかです。
- ・まさに、自治体の腕の見せどころですね。